

注目される「教育無償化」について考える



家庭の教育費負担は50年で16倍！？

現在、1人当たりの年間教育費は約40万円。1970年代の2.4万円に比べ、約16倍にも増加しています。その国民負担を低減すべく、2025年3月 国政で自公維3党合意により「高校授業料と小学校給食費の無償化」方針が示されました。現在横浜市でも、市立高校の生徒1人あたり年間約100万円の税金が投入されています。私は、家庭の経済状況に関わらず等しく教育が受けられるべきであり、少子化時代には公立・私立を問わず切磋琢磨して質を上げるべきと考え、予算審査において公教育の更なる質向上を要望しました。

	子どもの医療費控除	小中学校給食費	私立高校の授業料助成	公立高校の授業料
東京都内	18歳年度末まで	無償	所得制限なし	実質無償化
横浜市	中学校3年生まで	有償	所得制限あり	有償

東京都内
横浜市

出典：表は「横浜市 2024年11月国の制度及び予算に関する提案・要望P88」より簡略化して作成

同じ学校に通っていても学費が違う？ 東京と神奈川の自治体格差が広がる

住む地域により同じ学校に通っていても学費負担が異なるという自治体格差が実際に広がっています。その背景には自治体の税収構造の違いがあります。例えば隣接する東京都と神奈川県では

- ・東京都：法人税や固定資産税が豊富
- ・神奈川県：住民税に依存→少子高齢化の影響大

というような差があります。その結果、実施できる支援策にも上図のように差が出てしまいます。住む場所に関わらず、同一の水準で教育を受けられるべきだと思いませんか？

「改革でムダをなくし、成長で未来を支える」

～横浜市も財源不足、教育の無償化を実現するには？～

「地域財政力指数」という言葉をご存知でしょうか？これは自治体の収入を支出で割ったもので、1.0を下回ると財源不足を意味します。全国1,741の市町村のうち約96%が1.0未満。横浜市も例外ではなく、指数は0.94と、健全とは言いがたい水準です。たとえば、「保育料無償化」「18歳までの医療費助成」「学校給食費の無償化」「市立高校の授業料無償化」を市単独で行うには、年間で約277億円の追加財源が必要になります。こうした将来への投資を実現するためには、ムダを見直して行政の効率化を進める「改革」と、地域経済を元気にして税収を伸ばす「成長」の両方が必要です。要望のみに留まらず歳出改革や財源確保を求めると共に、稼いで成長する都市づくりで、暮らしと未来を守るよう尽力します。



PROFILE

柏原傑（かしわばらすぐる）

1985年広島生まれ 鶴見区寺谷在住
妻と小学生3人（4月から）の5人家族
公立小中高を経て、千葉大学工学部卒
民間企業を経て、2023年より横浜市議員
脱炭素・GREEN×EXPO推進・みどり環境・資源
循環委員会 / 郊外部再生・活性化特別委員会 委員

YouTubeライブ市政報告会のご案内

- ①4/10(木) 15:00-16:00 内容
- ②4/18(金) 11:00-12:00 2025年度予算案
- ③4/18(金) 20:00-21:30 注目のテーマ
鶴見の話 など…



申し込み不要！🔍「YouTube 柏原すぐる」またはQRで検索！

2025年度の横浜市予算 約4兆円 予算審査で質問に立ちました！

※：一般会計と特別会計の合計



質問や要望を行った主な会議

- 2月3日 鶴見区区づくり会議
- 2月27日 教育委員会 ※
- 3月3日 政策経営局 ※
- 3月3日 市民局 ※
- 3月5日 こども青少年局 ※
- 3月10日 選挙管理委員会 ※
- 3月12日 常任委員会

※：予算特別委員会の局別審査

どんな質問したの？ 3つピックアップ！

- ① 教育委員会組織の抜本改革を昨年の一般質問で求めた。新年度事業の調査検討の進め方は？
→答弁：客観的かつ専門的な知見を取り入れる
- ② 障害児相談支援事業所が大不足。倍増計画の実現に向け、体制づくりを確実に実施すべき
→答弁：希望する方が利用できるよう取り組む
- ③ 駒岡や梶山の投票率が区内でワースト。期日前投票所をトレッサ横浜に設置すべき
→答弁：効果的な投票所設置を検討していく

各局の予算内容を審査・質問した内容に対し、各担当局長から前向きな答弁を得られました。

【質問→実現】長年の問題が進展 鶴見駅西口喫煙所が密閉型へ



鶴見駅西口の開放型喫煙所からのたばこの煙が周囲に広がる問題について、長年に渡って多くの懸念の声が挙がっていました。この解決のため、密閉型喫煙所の設置を議会で提案してきました。

横浜市は当初難色を示していましたが、2025年度中に現在の位置で密閉型喫煙所として再整備されます。受動喫煙対策・分煙環境の整備・街の美化を今後も働きかけていきます。

今後の議会の予定

3月末日まで第一回定例会。次は5月中旬から第二回定例会で補正予算など審議します。閉会中は地域訪問、調査や視察、要望対応、政策立案等を行います。写真は鶴見支援学校への視察時です。

豊岡小学校の建替日程が具体化！ 今後は事業者公募の段階へ



【建替で一緒になる施設】

- 小学校
- 放課後キッズクラブ
- 日本語教室
- 鶴見図書館-カフェ併設
- 鶴見保育園
- つるみ区民活動センター
- わっくんひろば
- プール等（借地で民営）

複合施設として建替予定の豊岡小学校のPFI方式(民間による公共施設づくり)による実施方針、要求水準書が公表されました。一覧で示す施設が入り、一部は7～8階建ての計画です。今後は設計・建設・運営を行う民間事業者を決めます。議会では運営に向けた早期の地域連携を要望しました。

＝ 主な事業スケジュール ＝



2025年度 鶴見区の変化は？



- ① 3月27日に鶴見川人道橋が開通！（末吉⇔矢向）
- ② 馬場小学校で朝の預かりモデル事業スタート
- ③ 東台小・生麦小・新鶴見小の体育館に空調設置
- ④ 豊岡小が交通安全対策推進校に。対策強化へ
- ⑤ 入江川遊水池の駐車場跡地等の広場化検討本格化
- ⑥ 生見尾踏切安全対策のための予備調査を実施へ
- ⑦ 災害時のペット同室避難のモデル実施（18区）
- ⑧ 上の宮/馬場/獅子ヶ谷で予約乗り合い交通実施へ
- ⑨ 4月から市内公園が全面禁煙（条例改正による）



お問合せ

ご意見やご質問は随時受け付け中！
公式LINE登録後、「問い合わせ」
よりお気軽にご連絡ください。

